

砂川村のアーカイブズ

—近代町村**役場文書**群の構造と内容—

大石三紗子「砂川村役場の組織分析と文書群構造」

高江洲昌哉「砂川村兵事文書から見た文書管理制度確立期の特色」

富善 一敏「明治期村役場文書の引き継ぎ

—砂川村と愛媛県東宇和郡魚成村との比較—

日時：2013年11月17日（日）13:00～17:00

会場：筑波大学文京校舎・122 講義室

（東京メトロ丸ノ内線・茗荷谷駅下車徒歩2分）

参加費無料・事前申込不要

2011年4月の公文書管理法施行後、地方自治体でも公文書管理条例の制定や文書管理規定の見直しなどが始まり、地域の歴史的に重要な公文書等の保存が改めて注目を集めつつある。しかし、昭和の大合併以前に遡る旧町村役場の公文書（以下、「役場文書」）については、必ずしも十分な対応がなされているとは言い難い。自治体史編さん事業を除けば、役場文書が調査対象になる例は少ない。役場文書はどのような構造や内容を持っているのか、私たちは十分な知識を持っていないのではないだろうか。

そこで今回の研究集会は、5年にわたり東京府北多摩郡旧砂川村（現立川市）役場文書の調査研究を進めてきた砂川村役場文書研究会との共催で、同文書に関する研究報告を行う。役場文書の構造と内容への理解、そしてその保存に関する新たな認識を深める機会になれば幸いである。

主催：日本アーカイブズ学会、砂川村役場文書研究会

お問い合わせ：office@jsas.info（日本アーカイブズ学会事務局）